R-Catchでデータ取得ができなくなった時の対処法

Copyright© Catch the Web Co.,Ltd.

データが途中から取得できなくなった場合について

R-Catchは、サイト登録時に設定したキーワードを
各検索エンジンで検索を行い、その結果を表示（データの保存）するツールです。

そのため、検索エンジンの仕様により、
一定の間隔でデータの取得を行い続けるとデータの取得ができないように
一時的にブロックされる場合があります。

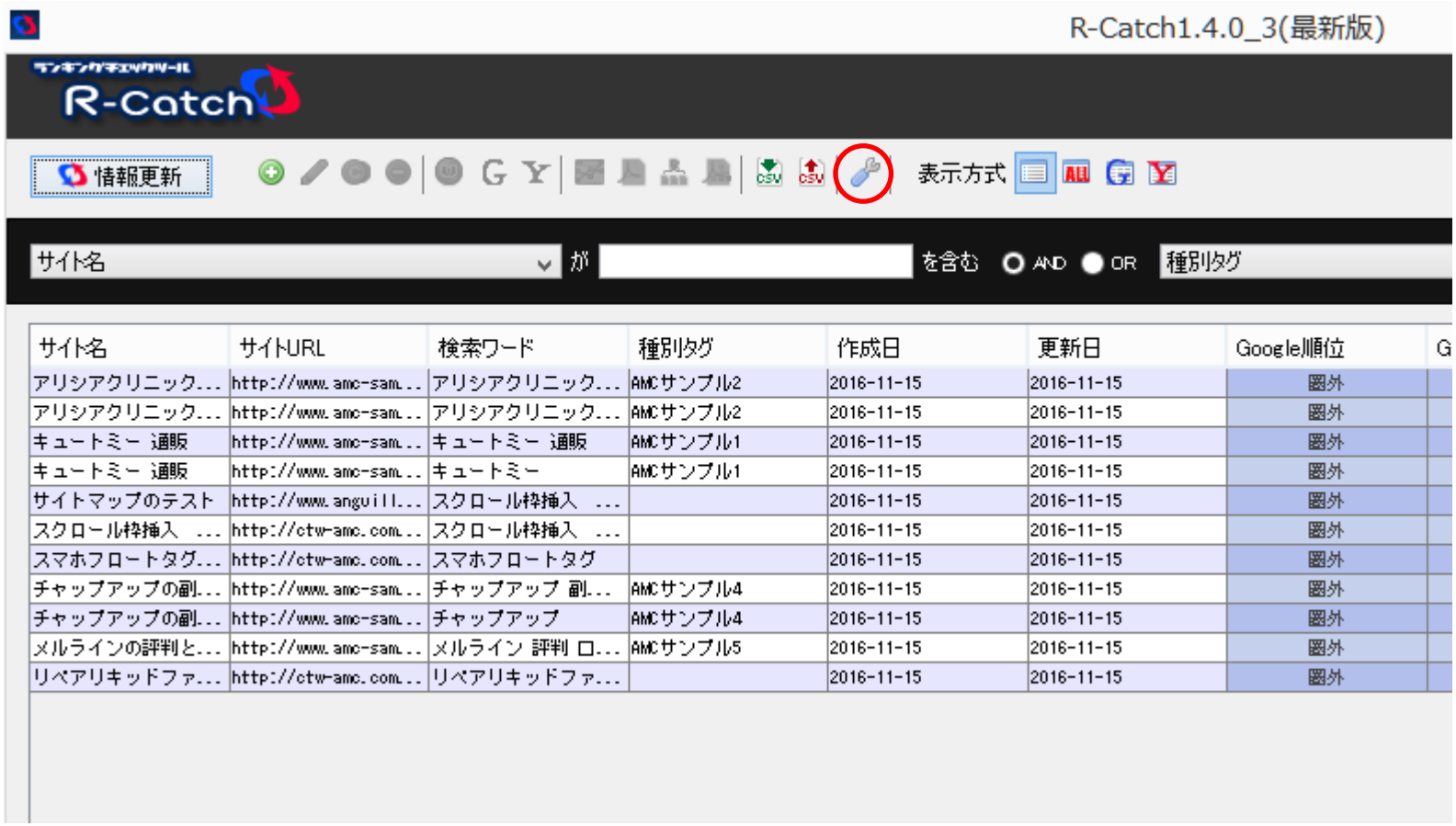
他のツール等で検索エンジンへ何度もアクセスを行なっている場合には
R-Catch以外の要因でブロックされてしまうことも考えられます。

もしデータ取得がうまく行われなかったときは
上記のことを考慮して一旦時間をあけていただき、

今後R-Catchでデータを取得するときには
次ページからを参考に**「データの取得間隔の調整」**を行ってください。

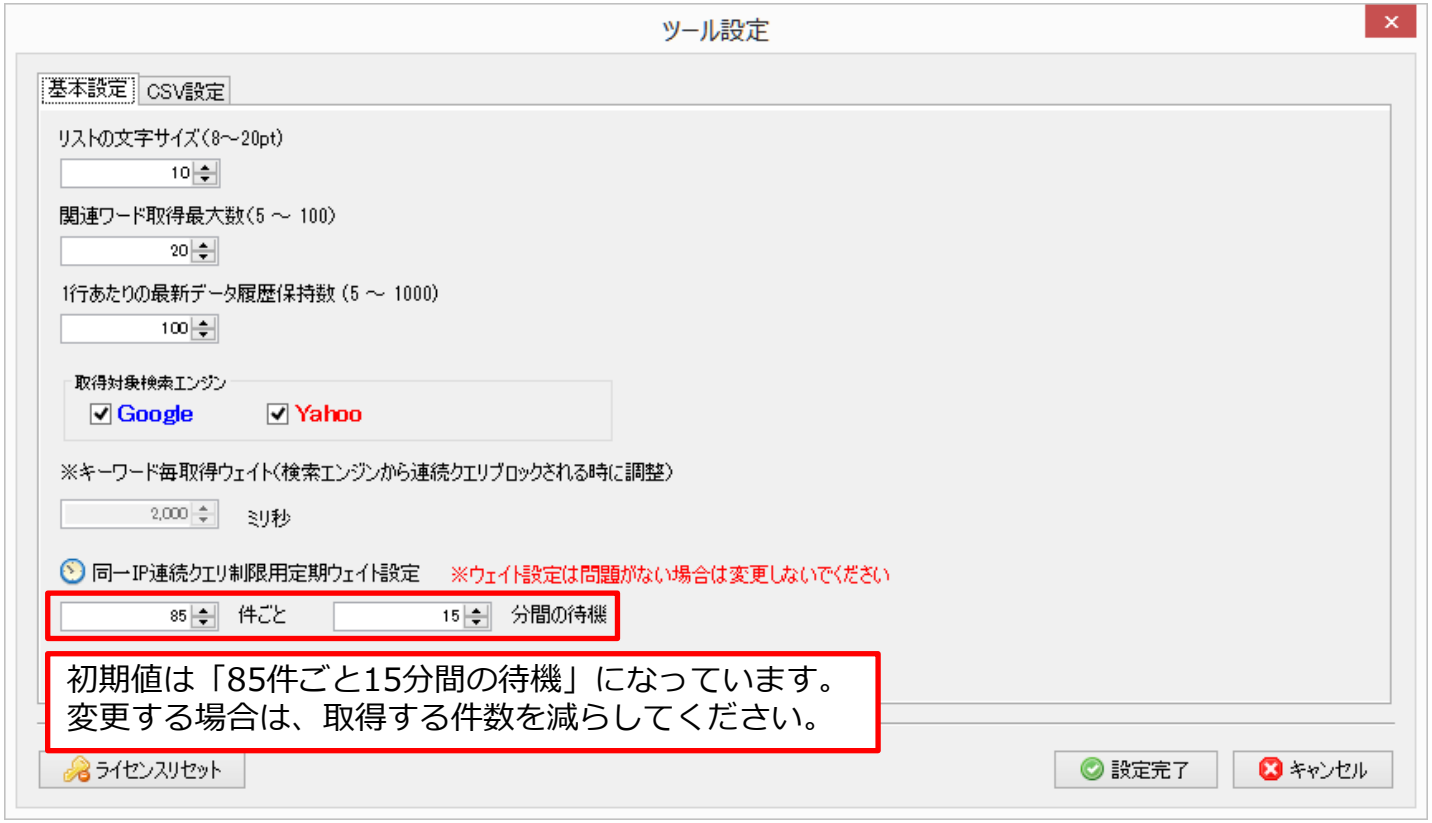
Copyright© Catch the Web Co.,Ltd.

R-catchを起動してツール設定ボタンをクリック



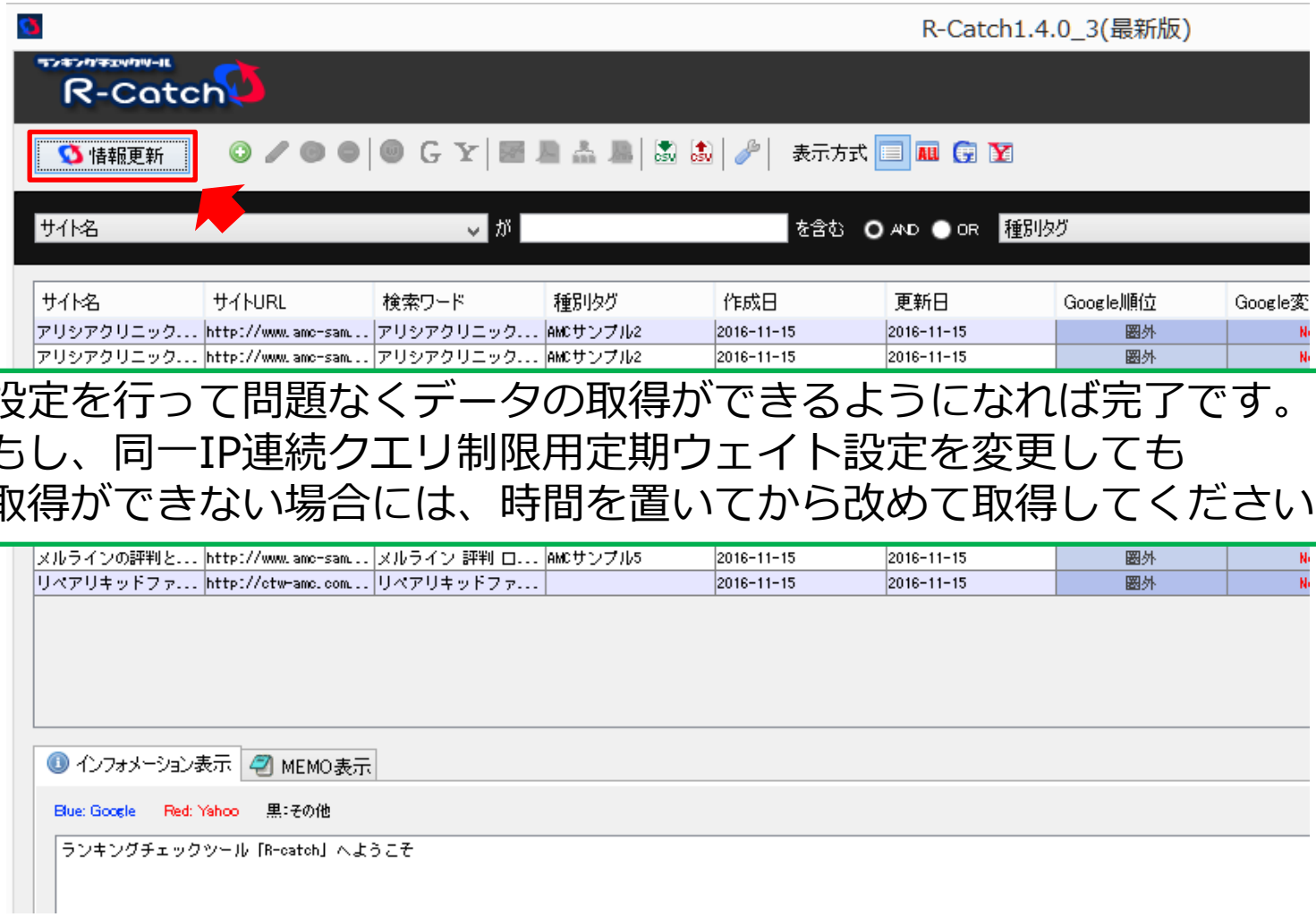
「同一IP連続クエリ制限用定期ウェイト設定」を変更する

「同一IP連続クエリ制限用定期ウェイト設定」とは、
指定した件数ごとに設定した時間、データの取得を待機する機能です。
この設定により、検索エンジンがブロックすることを防ぎます。



設定したら「設定完了」をクリック

「情報更新」をクリック



設定を行って問題なくデータの取得ができるようになれば完了です。
もし、同一IP連続クエリ制限用定期ウェイト設定を変更しても
取得ができない場合には、時間を置いてから改めて取得してください。